

## 第8回網走市選択する未来会議発言要旨（令和元年10月17日（木））

～網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略におけるK P I達成状況について、資料に基づき事務局より説明～

### ●議長

事務局から説明がございましたが、委員・オブザーバーの皆様のおかげから、ご意見・ご質問等があれば挙手いただきたいと思いますが、何かございますでしょうか。

### ○委員

「中心市街地通行者数（平日）」について、数値があまりにも減っている。目標値が、9,000人となっているが、H30は1,006となっている。9,000人という目標はどこから出たのか。差がありすぎるのではないか。今後増加に向けた策が何かあるのか、減るのは仕方ないという考え方なのか伺いたい。

### ●事務局

総合戦略策定時の値（H26）が6,592人という値でしたので、5年後にはそこから多少なりとも増やしたいという考えのもと9,000人という設定をいたしました。実際のところは天候など様々な要因があり、なかなか効果が出ていない状況でございます。

測定にあたっては定点で観測をしておりますが、測定日が一日だけということもあり、詳細な分析は困難でございます。

しかし、実際としては大変厳しい状況だと認識しております。

### ○委員

今までの数値のように、目標値の1/3とかそういう程度であればまだわかるが、目標値は希望的数値かもしれないがこれはあまりにも少なすぎる。

### ●事務局

次期総合戦略の改定にあたってはK P Iの目標値の精査、見直しも必要と考えております。

### ○委員

このままいくと、今までの数値はなんだったのかということになりかねない。見直しが必要だと思う。今年見てからということになるとは思うが。

～第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、資料に基づき事務局より説明～

●議長

事務局から説明がございましたが、委員・オブザーバーの皆様の方から、ご意見・ご質問等があれば挙手いただきたいと思いますが、何かございますでしょうか。

○オブザーバー

5頁の経済・社会情勢の変化というところですが、これはすごくいいなと思う。前回戦略を策定したときは、どこの自治体も時間がなかったため、どこも同じような内容になった。こういう風に考えていただいているのはいいと思う。

以前、上山町の方の講演を聞いて、東川町とすごく似ているなと思っていて、2つとも文化を中心にクリエイティブな人材を集める取組を行っていて、その人たちが事業家を連れてきている。結果として人口5,000人の町から上場企業が出来たりとか、そういう展開に繋がっている。「人、資金の流れ」とか「人材を育て活かす」とかの言葉があるが、戦略を作る段階では具体的なビジョンを明確にするべきだと思う。今ほどこの自治体もこういう言葉を使うようになってきているのだと思うが、網走ならではの具体性、例えば農大生の定住についてもどういった人を定住させたいのか、農業なのかそれ以外なのか。そういうところも含めて考えるべき。

海の幸を活かしてどうやるのか、関係人口を増やすというのであれば、おしゃれなフレンチレストランを市が作って、経営したい人を公募するなど、トガったものが必要ではないか。

網走の特徴を生かしたものを盛り込んでいかないとまた同じものになってしまう。

網走はここ3年くらいで20～40代の女性の人口が極端に減っている。そこを残すためになにをするのか、極端な話だが、例えば20～40代の女性にはディズニーランドのチケットを年間2枚プレゼントするなど（これが効果的という話ではありませんが）、トガったものをターゲットを決めてやっていかないといけないのではないか。

私は北見市の委員もやっているが、北見市では北見工大と連携して上場企業をつくろうと明文化していて、行動をすると、その行動に引っ張られて人が集まってくる。北見は工大があるからそういうことをやっているが、網走には網走の特徴があると思うので何か考えてはどうか。

○委員

5頁に「民間と協働する」という項目があるが、何か具体的に取組事例はあるか。

●事務局

こちらの内容は国から示されているものでありまして、第1期戦略の検証を踏まえた上で、これらの視点を加えて新しい施策を検討していきたいと考えているところでございます。

○委員

働き世代の人とまちづくりについて話すことがあるが、一つ一つのところでは様々な取組がされているが、横のつながりが弱い、全市的な取組、システムが無いという意見をよく耳にする。マンパワーで考えるとそういうことも必要なのかなと思う。こういったところも検

討していただければと思う。

## ○委員

先ほどの委員の話にあったが外から連れてくる、網走ならではのトガった取組がないと変えられないと考えるのか。例えば網走の人口動態を見ても減っていくのは明らかで、人口を増やす策というのはなかなか作りにくい。これからどうなっていくのかをしっかりと見ていくためにも、人口動態をしっかりと示した上で希望的観測だけを見ないで取組む必要があると思う。

どうやったら今いる人に残ってもらえるのか、基本目標にもある「支えあい、安心して暮らすことができる共生型地域社会づくり」という観点から何かできないかということも考えていただきたい。そういう町には若者も住みたいと思うのではないか。

東京農大の定住については大賛成である。東京農大にも網走に残りたい生徒はたくさんいるが、働く場所がない。どこかで働いてから網走に戻ってくる人もいる。そういう人たちの居場所を作るとするのは良いことだと思う。

次期の目標値は今年度の数値が入口になると思うが、そこから1.5倍にするとかそういうことは難しいと思う。そこをどう維持するかという観点で作ったほうが高い目標を設定するよりも着実な施策ができるのではないか。

## ●事務局

委員からお話があったように、人口の見通しについては非常に重要だと考えておりまして、さきの人口ビジョン、総合戦略策定時は平成22年の国勢調査結果をもとに推計していましたが、現在は平成27年の結果が出ているのでそこをベースに推計しました。

トレンドについては先ほど事務局から説明したとおりですが、当初から申し上げてきたとおり人口減少を抑えるのは難しい、そしてその状況が加速度的に進んでいるというところがある。人口減少の割合が多い道内ベストテンで、網走は9位となっております。それはなぜかというのを情報政策課で調査をしまして、転出については横ばいであるが転入が減少しているということがここ2年間のトレンドとなっております。では、それはなぜかというのはまだ見つけられていないのですが、まずはそれがポイントということ、さらにはそれが今後も続くのか、という見通しについてはきちんと見なければならぬと考えています。

平成27年の推計でいきますと、2015年を100としたときの2040年の姿ですが、道内35市の内、年少人口の減少が少ない自治体の順位で上から6番目、生産年齢人口は上から11番目となっております、あまり悲観的になりすぎてもよくないと思っていますのでその分析はしっかりしたいと思っています。

もう一つのポイントは東京農大の存在であります。さきほど委員からもお話があったように、残りたい学生はいるとお聞きしていますが働き場所がない。働き手が足りているわけはありませんが、学んできたこととマッチングする職種がない。

現在取り組んでいるのは、網走の一次産業についてはポテンシャルが高いと考えておりますので、そこをなんとかできないかということと、現在能取工業団地にバイオマス発電が稼働を始めました。これの排熱のカスケード利用ができないかということで、農産物の栽培、水生圏の生物の陸上養殖ができないかということが検討されておりますので、なんとかビジネスに持っていけないかということです。こういうことができれば学生の方のスキルを活かす職場にもなると思いますので、法務省などとも協議をしながら進めているところでござい

ます。

もう一つのストロングポイントは2つの港があるということでございます。女満別空港も民営化され、LCCの誘致が重点課題として進んでおりますので、CCRCの検討をしてみましたけれども、交通費が大きなネックとなっておりますので、LCCの就航により、そこが改善されれば網走にとって追い風になるかなと思っています。

網走港につきましても、バイオマス発電の燃料は国内だけでは足りませんので、ロシアから入ってくることとなりますが、重要港湾の要件である、出入りの回数が増えるということと、帰りの船が空き船になりますから、そこに何か積めないかということも今後の検討課題になってくると考えています。

いずれにしても農大の知見が有効となってくることから、産学官金労とも連携をしながら戦略を練り、動かしていきたいというに考えております。

新しいSDGsやSociety5.0についてはまだまだ我々も勉強不足でございますが、観光Maasについては、釧網本線の維持は非常に困難な課題でありますけれども、ここを舞台にしてウィラーという会社がルートの検索から予約、決済までを一括してできる仕組みができないかということの実証実験をしていただいておりますので、こういうことも強みにして観光戦略を考えるということもやっていきたいと考えております。

委員からもお話がありましたが、働く世代の横の連携については必須となっておりますから、そこをどうしていくかということを実第2期に盛り込んでいければ良いと思っておりますが、なかなか手探りの部分があるということと、国からは国、道の総合戦略も良く見なさいということも言われておりますので、そこも注視をしながら12月以降になりますけれども網走市の総合戦略を策定したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

●議長

それでは、本日の事務局の説明と、ご質問に対する回答を御理解いただいたということでよろしいでしょうか。以上で本日の議事を終了させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

(以上)